

SARS-CoV-2による感染症(coronavirus disease 2019: COVID-19)

- ・ SARS-CoV-2はコロナウイルスの一種であり、その感染症をCOVID-19と呼ぶ。ウイルスに曝露されてから5日前後で発症し、発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感といったインフルエンザ様症状が認められることに加え、嗅覚や味覚障害の頻度が高いことを特徴とする。
- ・ 『新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き・第6.0版』によると、患者の重症度は、酸素飽和度や、肺炎所見、酸素投与の必要性といった臨床状態から軽症、中等症I、中等症II、重症に分類されている。患者の約80%は軽症から中等症IIに相当し1週間程度で回復するが、約15%の患者では1週間程度で酸素投与が必要な中等症IIの状態となる。10日目以降、さらに重症化する患者もあり、その場合は集中治療室での治療が必要となる。
- ・ レムデシビル(ベクルリー)は抗ウイルス薬の一種であり、SARS-CoV-2による肺炎を有する患者に対して用いられる。このため、中等症I以上の重症度の患者が投与対象となる。
- ・ この他薬物療法は重症度に応じて実施され、宿主免疫反応(炎症)が想定されるようになると免疫抑制薬や抗凝固薬が使用される。

図: COVID-19の重症度別マネジメントのまとめ(厚生労働省『新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き・第6.0版』及び日本感染症学会『COVID-19に対する薬物治療の考え方 第10.1版』を参考に作成)

	軽症	中等症I	中等症II	重症
酸素飽和度	SpO ₂ ≥ 96%	96% > SpO ₂ > 93%	SpO ₂ ≤ 93%	
臨床状態	呼吸器症状なし or 咳のみで呼吸困難なし	呼吸困難、肺炎所見	酸素投与が必要	集中治療室入室 or 人工呼吸器が必要
想定される病態	ウイルス増殖			宿主免疫反応(炎症)
薬物療法	中和抗体薬(カシリビマブ/イムデビマブ、ソトロビマブ) [†]	レムデシビル	免疫抑制薬(ステロイド、バリシチニブ)	抗凝固薬(ヘパリン)

[†]重症化リスク因子のある患者に投与